

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院間脳下垂体外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2011年1月1日 ～ 2017年3月31日の間に、下垂体腫瘍、脳動脈瘤、頭蓋底腫瘍のために虎の門病院間脳下垂体外科および脳神経血管内治療科に入院し、バルーン閉塞試験を受けられた患者さん

【研究課題名】

MRAによる内頸動脈バルーン閉塞試験の結果予測

【研究の目的・背景】

手術中の内頸動脈損傷時には内頸動脈の閉塞が必要となりますが、その際バイパス術の追加が必要となるかはバルーン閉塞試験で判断を行います。そのため内頸動脈損傷のリスクの高い手術では、術前予めバルーン閉塞試験を行っておく場合があります。ただし、そのような手術でも内頸動脈損傷の絶対的な頻度自体は高くなく、バルーン閉塞試験自体も脳梗塞などのリスクがある検査でありますため、バルーン閉塞試験を省略できる症例をMRA（magnetic resonance angiography：MRIによる血管撮影）で予測できるようにしたいです。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

平成29年9月15日 ～ 平成31年5月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。元の情報は対応表を用いて管理し、学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院間脳下垂体外科福原紀章のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報は虎の門病院内でのみ使用し、外部への提供は想定していません。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、画像検査、診断結果、治療経過、脳血管造影画像、MRI 画像

【研究代表者】

虎の門病院間脳下垂体外科 西岡宏

【虎の門病院における研究責任者】

間脳下垂体外科 西岡宏

【利用する者の範囲】

虎の門病院間脳下垂体外科 岡田満夫

虎の門病院間脳下垂体外科 福原紀章

虎の門病院脳神経血管内治療科 細尾久幸

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、平成 31 年 3 月 31 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 間脳下垂体外科 福原紀章

電話 03-3588-1111(代表)